

甲状腺濾胞癌の転移性骨腫瘍経過(2020年～)

2020/10/29	がん検診(肺・子宮・乳)にて 肺の異常『胸膜腫瘍の疑い』指摘←精検の指示	S市検診
11/27	胸部CT撮影 ◎肺⇒『両側下肺野に5mm程度までの結節』 ◎左第7肋骨⇒『 <b>転移性骨腫瘍の疑い</b> 』←がんセンター紹介	O病院
12/11	胸部～腰部CT撮影 血液検査 検尿 ①左第7肋骨のみならず、第1腰椎(左)、仙骨(右)にも骨破壊伴う骨腫瘍見受けられる。他にも可能性あり。 ②血液検査の結果、TG(甲状腺ホルモン)値が異常に高い。 (正常値33.7ng/ml以下のところ5000ng/ml以上) ⇒ <b>甲状腺癌の骨転移</b> と考えられる	がんセンター
12/15	検査入院：『 <b>経皮的針生検</b> 』 「検体の大部分は、大小の濾胞構造を示し増殖する腫瘍組織に占められる。 <b>甲状腺癌の転移</b> として矛盾しない」	
12/23	<b>PET-CT検査</b> (Positron Emission Tomography (陽電子放射線断層撮影法)) ①甲状腺左葉術後、局所再発所見は認めない。 複数の骨(右肩甲骨、左第7肋骨、第1(2?)腰椎、仙骨)に異常集積(仙骨病変：SUVmax=4.1)みとめ、骨転移を疑う。 ②その他の部位には、あきらかな異常集積は認めない。 胃術後部に再発所見認めない。 ③CT部分にて、肺小結節複数(右中葉、右下葉、左上葉)認めるも、サイズ小さく、評価困難。要経過観察。	Mクリニック
12/25	頭頸部外科受診 「 <b>2007年手術の甲状腺左葉は『濾胞がん』</b> であったと考えられる。 (濾胞がんは良性と悪性の区別がつきにくい) 多発骨転移の状態」  «今後の治療» 残っている右葉切除+D1郭清 その後、『放射性ヨード治療』を入院して行うことになる。 (大学病院に依頼することになるが、約6カ月待ち)	がんセンター
2021/1/7	整形外科受診 「今後、頭頸部外科での治療中心となる。」	
1/12	頭頸部外科受診 ・PET-CT結果確認及び今後の治療確認 ・負荷心電図で『狭心症』の兆候を指摘されたので、念のため1/18に心臓エコー検査をする 造影CT(頸部+胸部) 頸部エコー	
1/18	心臓エコー検査…不整脈みられるが、特に大きな問題なし	
1/19	PCR検査…陰性 «手術説明» 2007年N病院で摘出した『甲状腺左葉』に癌が存在したと考えられ今回、多発骨転移が判明している。 現在、残存した甲状腺には明らかな病変は認めないが、 『放射性ヨード治療』を行うためには残存甲状腺の全摘出が必要。  <b>甲状腺右葉切除術+右気管傍リンパ節郭清術+副甲状腺移植(頸部筋肉内に)</b>	がんセンター

1/21	手術 「副甲状腺1個 見つかることができたので埋め込んだ」	
1/25	歯科受診 骨吸収抑制剤 <b>ゾメタ</b> (ゾレドロン酸)投与に当たり、問題ないかチェック (抜歯治療などの際、口腔状態により顎骨壊死をおこすことがある) 現在、問題ないが、引き続き かかりつけ歯科医にて定期的チェック必要  肝胆膵内科受診 「CT検査の結果、膵臓に『のう胞』が見受けられた」 ⇒2/19消化器(超音波)内視鏡検査(造影超音波検査)を行う	
1/27	ゾメタ(ゾレドロン酸)点滴…翌日、副反応で発熱(ロキソニン服用で解熱)	がんセンター
2/4	頭頸部外科受診 ・甲状腺ホルモンの値が高い…チラーヂンを減らす:150 $\mu$ g⇒125 $\mu$ g/1日 «病理診断結果説明» ・2007年8月 N病院で切除した <b>甲状腺左葉</b> HE標本取り寄せ、再診断の結果『 <b>悪性</b> 』 <b>甲状腺濾胞癌</b> と診断 ・今回、補完全摘のため手術した <b>甲状腺右葉</b> は『 <b>良性</b> 』の診断	
2021/2/19	消化器(超音波)内視鏡検査(造影超音波検査) ・ <b>分岐型IPMN</b> (膵管内乳頭粘液性腫瘍)であり、癌のリスクは低い。 ・血液検査で膵臓関連の数値は悪くない。 今後、頭頸部外科などでCTを撮る場合に経過を観察していけば良い。	
3/10	核医学科受診 『放射性ヨード治療』についての説明 ・大きい癌は30%程度しか壊せない ・ヨードがうまく取り込まれるようであれば3ヶ月以上あけ3回程度行う 7月5日(月)入院、9日(金)退院 初日にPCR検査。異常なければ次の日に放射性ヨードカプセルを飲む。 150mCi(ミリキュリー)分のカプセルを服用。これが限界量。 治療をするための準備期間は5週間。	大学病院
3/22	造影CT(頸部+胸部+腹部+骨盤)	
3/25	整形外科受診 ・仙骨が骨折している。 ・腫瘍自体は大きくなっていない	がんセンター
7/6	<b>放射性ヨード内用療法</b> (1回目) ・150mCi(ミリキュリー)	
12/6	<b>放射性ヨード内用療法</b> (2回目) ・130mCi(ミリキュリー)	大学病院
2022/4/25	<b>放射性ヨード内用療法</b> (3回目) ・130mCi(ミリキュリー)	
7/29	造影CT(頸部+胸部+腹部+骨盤) 《2021/3/22との比較結果》 ・多発肺転移疑いの肺結節は前回同様 ・S1-S2右仙骨翼から仙骨孔周囲の腫瘍は軽度縮小し内部壊死疑う所見 ・左第7肋骨、L1椎体病変も軽度縮小と内部壊死疑う所見 ・右肩甲骨や右上腕骨頭に淡い骨硬化像。前回同様。 ・膵尾部の低濃度域は前回同様	がんセンター
2023/9/4	<b>放射性ヨード内用療法</b> (4回目)予定 ・120mCi(ミリキュリー)	大学病院